

「沼のほとり」

NPO 法人手賀沼トラスト会報 第121号

(発行日：2022年4月1日)

手賀沼トラストが加入している保険

先日、農教室のにおりに保険についての質問をいただきました。今まで会報などでトラストの保険加入状況をお知らせしたことはなかったので、概略をお知らせします。

現在加入している保険は次のとおりです。2の農業者賠償責任保険以外は、補償金額が少ないので、できるだけご自分で保険に加入されることをお勧めします。

また、子どもの場合は、1の我孫子市市民公益活動保証制度の対象にならない場合が多いと思われるので、子ども部会の方は必ず傷害保険に加入してください。

1. 我孫子市市民公益活動補償制度（無料）

「公益的な活動」（トラストの活動はほぼ全て公益的な活動です）を行っている際に起きた事故により、怪我などの傷害を負った場合や賠償責任を負った場合の負担を補償。

(1) 傷害（通常の合理的な往復経路での事故、公益活動中の車両事故によるものも対象）
死亡 500万円 入院 日額3,000円 通院 日額2,000円

(2) 損害賠償

身体賠償 限度額 1人につき 6,000万円 かつ 1事故につき 3億円

財物賠償 限度額 1事故につき 100万円

2. 農業者賠償責任保険制度（JA 掛金18,800円 4haまでの農地）

*農作業による損害賠償事故を補償

人身・財物 最高1億円

3. 特定農機具傷害共済（JA 掛金刈払機440円など）

*刈払機、トラクター、管理機、コンバイン、モアなどを使用して怪我などの傷害を負った場合。

死亡500万円 傷害最大5000円×通院・入院日数

4. ボランティア行事保険（社会福祉協議会 掛金1人28円）

*ソバ祭り、餅つき大会などの外部者が参加するイベントのとき、外部者の傷害などを補償する。

死亡400万円 傷害通院2200円、入院3500円×日数

(寄稿)養蜂部会のこと 1

鳥谷部 末弟

縁あって会報「沼のほとり」へ寄稿する機会を賜った。昨年、四季を通じて近隣におけるミツバチの蜜源植物を調査（可視化）し、成果物を定期的に養蜂部会メンバーへ情報共有したところ、この取り組みが寺田さんに評価され、本間さん・田中さんを通じ「書いてみたらどうだろう？」と話しあったのが経緯となる。

「えっ？」寝耳に水だったが全くもって悪い話ではなかった。体得した知見を影響力ある媒体で語れるのは大変貴重なことであるし、会報を通じて部の枠を越えた普く読者に楽しんで頂き、養蜂や植物に益々興味を持って貰える一助となれば、結果として養蜂部会が手賀沼トラストの活動目的に貢献することになるからである。

また小生は故遠藤理事長の末弟であるが、里山農教室部会から養蜂部会へ転部した際、「養蜂も（農教室同様）大切ですから是非勉強してくださいね。」と奨励され、それが最期に交わした言葉

となっていた。この場を借りて勉強の成果を報告出来れば、先生もきっと喜んでくださるに違いないし、先生の意思の延長が読者にもなると考え、この依頼を引き受けることにした。



[写真1]2018年農場視察「さんぶ野菜ネットワーク」での集合写真。遠藤先生と下山事務局長を両隣に緊張気味の筆者（手賀沼トラストHP）

「旬×地域×養蜂×植物」なネタをお届け

テーマは自由、文字数も自由…血液型がB型の人にとっては嬉しい限りだろうが、A型にとってこの裁量は穏やかじゃない。

鳥谷部：「何文字程度書けばいいですかね？」

田中：「800字とか」

鳥谷部：「原稿用紙2枚か…」

本間：「原稿用紙1枚じゃ少ないよね？」

富沢：「ワードじゃないとだめだよ、PDFじゃ編集出来ないから…」

田中：「全何回にしようか(笑)2回?3回？」

冗談交じりで意見は出るものの、煮え切らないまま協議はあえなく終了…

あまり蘊蓄を傾けても読者が飽きてしまうし、他の記事とのバランスも欠いてしまう。皆さんの意見を参考とし初回は2ページ、あとは1ページ程度に収め、富沢さんに質・量ともに加筆修正してもらうことを想定したら腹が据わった。そしてテーマは「旬な地域の養蜂や植物に関連した情報」を取り上げることにした。

百花蜜

漱石風に言うと「吾輩はニホンミツバチである」、また林家木久扇風に言えば「ワレワレはニホンミツバチである、ポヨヨーン」。ここで飼育しているのはニホンミツバチだ。小見出しで「百の花の蜜」と書いたように、いくつもの花から採取した蜜がブレンドされていて、その香りや色、風味は毎年微妙に異なるのが特徴である（厳密に言えば同じ年、同じ場所でも巣箱ごとに偏差があるのだと思う…海原雄山なら気付く？）。



換言すればニホンミツバチは単一の花へ集中的に訪花する習性が無く、行動は猫や木久扇師匠の様に自由気ままに見える。係る「単花蜜」とは対照的だ。ポヨヨーン。

[写真2]定例会でしぼった百花蜜、瓶ごとに色が異なる。

定例会に参加して

3/19 定例会で巣箱を内検したところ、ミツバチが殆どいなかったことにショックを受けた。例年ならばこの時期千〜万匹の群が元気よくここ里山周辺の空を飛び回り、巣を出入りしていたからだ。しかし現在は巣箱の多くが空室、1つは病気、唯一巣のあった箱はもぬけの殻だった。メンバーが指を差して「あっ、いた。一匹、二匹…」、当日は人の数が圧倒していたのである。これから春本番を迎えるが現場は「夏草や兵どもが夢の跡」だった。「今年は大丈夫なのだろうか？」不安を覚えながら止む無く巣箱を解体、待ち箱を設置しミツバチを迎える準備をしたのであった。

(以下次号)

4. 5月の活動予定

4	2	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	白ネギ播種、ポカシ肥切返し(2回目)、田圃整備
4	3	日	8:30	～	12:00	定例活動	各所	根戸城址各所整備、その他
4	5	火	8:30	～	13:00	遊休農地	宮前田圃 宮前沼田圃	温湯消毒・浸種
4	8	金	8:30	～	13:00	遊休農地	宮前田圃 宮前沼田圃	プール作成、播種機点検、苗箱洗浄
4	9	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	稲予措、苗箱洗浄、堆肥切返し(1回目)、ポカシ肥切返し(3回目)
4	9	土	13:00	～	15:00	ハーブ部会	日暮会場	圃場管理
4	12	火	8:30	～	13:00	遊休農地	宮前田圃 宮前沼田圃	播種
4	16	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	稲播種、サトイモ種芋準備、ポカシ肥収納、馬糞堆肥回収
4	16	土	13:00	～	15:00	養蜂部会	日暮会場	蜂場管理など
4	17	日	8:30	～	12:00	定例活動	各所	浅野圃場樹木伐採、整備、その他
4	23	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	田圃施肥、サトイモ・しょうが植付、とうもろこし播種、枝豆播種、じゃがいも管理
4	23	土	13:00	～	15:30	特別コース	日暮会場	例会
4	24	日	13:30	～	15:00	理事会	けやき10階	定例理事会
4	26	火	8:30	～	13:00	遊休農地	宮前田圃 宮前沼田圃	基肥・田植え機点検
4	28	木	9:00	～	12:00	竹教室	日暮会場	竹教室
4	29	金	8:30	～	13:00	遊休農地	宮前田圃 宮前沼田圃	代かき
4	未定					遊休農地	船戸圃場 西アト圃場 花和下圃場	菜の花刈り取り&除草、ロータリ耕
5	1	日	8:30	～	12:00	定例活動	各所	状況次第
5	2	月	8:30	～	13:00	遊休農地	宮前田圃 宮前沼田圃	田植え
5	6	金	8:30	～	13:00	遊休農地	宮前田圃 宮前沼田圃	除草剤散布
5	7	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	稲プール設営、田植え準備、スイカ定植、カボチャ定植
5	14	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	田植え
5	14	土	13:00	～	15:00	ハーブ部会	日暮会場	圃場管理
5	15	日	8:30	～	12:00	定例活動	各所	状況次第
5	21	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	落花生播種、圃場管理(ネギ・エダマメ・カボチャ)、馬糞堆肥回収
5	21	土	13:00	～	15:00	養蜂部会	日暮会場	蜂場管理など
5	26	木	9:00	～	12:00	竹教室	日暮会場	竹教室
5	28	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	サツマイモ植付、圃場管理、稲補植、堆肥切返し(2回目)
5	28	土	13:00	～	15:30	特別コース	日暮会場	例会
5	未定					遊休農地	船戸圃場 浅野圃場 花和下圃場	肥料散布、ロータリ耕
5	未定					遊休農地	船戸圃場 浅野圃場 花和下圃場	ひまわり播種

おしらせ

* 本年度の田植えは会員のみでの参加

新型コロナウイルス感染症は、まだまだ油断できないようです。新たな変異株の恐れもあり、先が見通せず、田植えは外部者をつのって盛大にやるわけにはいきそうにありません。残念ですが、本年度の田植えは、会員のみ（メルマガ会員を含む）で実施することとします。

* 城址下圃場の暗渠柵について

城址下圃場から田圃下をとって100mにもおよぶ暗渠。暗渠清掃のたびに長いひもを引っ張り、たわしを往復させて水垢を取っていました。水垢を取り除くとあら不思議、あたりに溜まった水がすーっと引きます。ただ、100mもの距離をたわしを往復させるのは重労働。しかも、ひもが途中で切れたら一巻の終わり！（一度切れたことがあります。）

3月29日、農政課のご厚意で、中間地点に暗渠柵を増設していただきました。これで手間は半減します。トラストの農地だけではなく、あたり一帯の農地が恩恵を受けます。

我孫子市・農政課様、本当にありがとうございました。

* 消費生活展について

長年、我孫子市消費生活展に参加してきましたが、本年度から参加を取りやめることを理事会で決定しました。消費生活展のテーマと手賀沼トラストの活動実態とが必ずしも一致しないことが多く、トラストの活動も多岐にわたり忙しくなってきたこと等からの決定です。

我孫子市消費者の会をはじめとする皆様、長い間たいへんお世話になりました。

3月の活動報告

3	5	土	9:00	～	11:00	里山農教室	日暮会場	新入生説明会	33名
3	5	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	堆肥散布(スタッフ作業)	52名
3	6	日	8:30	～	12:00	定例活動	第2駐車場 根戸城址	南側拡張、整備 トンネル北斜面の下草狩り、土留め	30名
3	12	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	開講式、里山保全(落ち葉集め)、農機点検・整備	101(大人部会) 72(子ども部会)名
3	12	土	13:00	～	15:00	ハーブ部会	日暮会場	にんにく除草、追肥、新圃場 計測、植え替え	9名
3	13	日	8:30	～	12:30	遊休農地	宮前沼田圃・西 宮前沼田圃・東 宮前田圃	ユンボで盛土した箇所をクワで畦造成、水配管設置 田植え前のトラクター耕耘 田植え前のトラクター耕耘	19名
3	19	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	堆肥・ボカシ肥づくり、馬糞堆肥回収	91(大人部会) 20(子ども部会)名
3	19	土	13:00	～	15:00	養蜂部会	日暮会場	蜂場管理など	27名
3	20	日	8:30	～	12:00	定例活動	管理場所各所 宮前沼田圃 第1駐車場	花和下圃場、冬水田んぼ、花ハス田等散策 1月に伐採をした柳片付け、土留め用材確保 草刈り	28名
3	24	木	9:00	～	12:00	竹教室	日暮会場	籠編み	7名
3	26	土	8:30	～	12:00	里山農教室	日暮会場	ジャガイモ植付、カボチャ播種(ポット)、ボカシ肥切返し(1回目)	89(大人部会) 39(子ども部会)名
3	27	日	13:30	～	15:00	理事会	けやき10階	定例理事会	9名

発行責任者 富沢 崇

事務所：我孫子市白山 2-13-5 (TEL:04-7182-0387)

e-mail : info@teganuma-trust.jp

自宅：我孫子市根戸新田 135-3 (TEL:090-2234-5610)

ホームページ : <http://teganuma-trust.jp/>